



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 29 年 4 月 29 日(土)
秋田道・太平山パーキングエリアでイベント開催 編

何とか盛り上げていきたい秋田県への観光誘客の強い思いを胸に、秋田県春の大型観光キャンペーンが展開される中、NW とのご縁により、一昨年の秋田自動車道・下り線八郎湖サービスエリア、昨年の下り線“木の香る”太平山パーキングエリア(以下、PA)に続き、今年も同 PA で開催することができました。これからどこへ向かわれるかも分からない、ほとんどが偶然立ち寄られたであろう高速道路ご利用のお客さま。一期一会であればこそ北東北や能代山本地域の美味しいものや見どころを伝えて何とか向かわせたい、そんな思いと、昨年からは、PA 内建築素材としてふんだんに使った秋田杉、目で見て、香りを感じてその良さを実感していただきたいとの思いも込めた、第3回目の開催となりました。

前日までの好天はどこへやら、予報どおりのあいにくの雨模様。昨年の奇跡の好天開催メンバーから大幅に変わったのは当 NEXCO 参加 4 人組。イベント日和としては、『まいりました。』状態。『何事もうまく運ぶわけではないよ。』のお天道様の試練。にもかかわらず、参加のみなさんのイベントにかける熱い思いからか、開始早々の 9 時過ぎからトイレ休憩に立ち寄る観光バス、「長野」「鈴鹿」「名古屋」といった普段秋田では見慣れない県外ナンバーを含む乗用車から次々と人が訪れ、その数約 300 人と盛況。

シーニックカフェ・夢工房咲く咲くでは、姉妹街道である会津若松市の甘納豆やぼうさい朝市の連携先、南三陸町の海苔、八森町のしょつつるあたりめなどを販売。山本地域振興局は県や管内の観光パンフレットの配布、当 NEXCO 東日本秋田管理事務所からは SA・PA カードやスギアロマオイルセットのプレゼント。(株)ウッディさんないではなまはげや愛嬌たっぷりのヒツジキャラの花台といった木製品を販売。茶誠堂の絶品みそたんぽ、白神あわびの珍味にして美味しあわびの燻製、3 年連続出店の鶴形そばのお二人は息の合った掛合い漫才的商売でお客さまを笑いの渦に。

会場がこじんまりとしていても、秋田杉が醸し出す暖かな雰囲気の中でイベントができるのが太平山 PA の魅力。いきなりですが、継続は力なり。季節の情報発信のイベントのひとつとして、これからも NW の取り組みとしてつなげていければ良いですね。

文：平澤 義弘



『誰のせいですか?』『いやいやお天道さまからの試練ですよ。』のあいにくの雨模様での開催でしたが、多くの県外ナンバーで賑わいました。



昨年に引き続き登場の、木製品の座れる動物・ナマハゲ・愛嬌たっぷりヒツジの花台は人気の中心。PAの香りのアロマオイルセットプレゼントは年代を問わず大好評。木材の持つ暖かさを実感。



昔はさぞやチャホヤされたであろう、「鶴形そば」のお二人。そばの味もさることながら、人生経験からにじみ出る濃厚な出汁がお客さまの笑顔を誘ってました。



雨にも関わらずどのお店にもお客様が来店。主は誰よ・・・の「くまモンカフェ」の売り上げと募金は 3,290 円でした。NW の活動費 1,710 円を合わせ、5 千円を熊本県の「ふるさとくまもと応援寄附金」にお送りしました。